

このたびは本機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
 ●施工前にこの施工説明書をよくお読みの上正しく施工してください。
 ●施工・取り付けは電気工事士法により電気工事士の資格が必要です。
 ●この説明書は施工後、施工様へお渡ししてください。
 ●同梱の施工記入表に必要事項を記載し、施工様にお渡しください。

安全上のご注意

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死にまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 電源線は確実に取付・接続する。電源を入れた状態で取付・接続しない。
 火災・感電の原因となります。

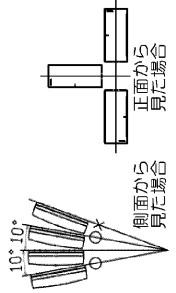
注意 機器を分解・改造しない。
 火災・感電の原因となります。

注意 次の場所での設置および使用は避け、人が感電を身う危険が想定される場合および物理的障害の発生が想定される内容を示します。

- 火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や温度が上昇するところ 暖房機、ヒーターなど近く
- 鉄粉、液体のこぼり、腐食性ガス・振動・衝撃など 穀物、ほこり、油、薬品、酸・塩化水素（塩酸）など
- 湿度の高いところ 浴室、地下室、温泉など
- 温度が低いところ クーラーの正面など
- 直接湯気や油煙のあたる場所 熱線や調理台の近くなど
- ノイズの発生する場所 ランタ・ワイヤレス機器の近くなど

設置・施工に関するご注意

- 容易に操作・点検できる場所に取付けてください。
- 高温・多湿・じん・あい・腐食性ガス・振動・衝撃など、異常な環境での使用は避けてください。
- 機能を保ちます。
- 屋内で使用してください。屋外の水のかかる場所には使用できません。
- 取付ける壁面は、平らな面を選び、適切なねじ締付け力で行ってください。凸凹のある場所へ無理に取付けたり、ねじ締付け力が強すぎると、ベースがひずみ、正常な取付けが維持できません。
- カバーは本体に確実に取り付けてください。取り付けが不十分だと、落下しやすくなる原因になります。
- 前面には、障害物を置かないでください。
- 照明器具・ダウンライトなどの近くに設置する場合は、使用される照明器具の直下近接角度以上離してください。
- 分岐センサユニットは分電盤内部で接続が確認できる位置に配置してください。
- 下向きには取り付けしないでください。



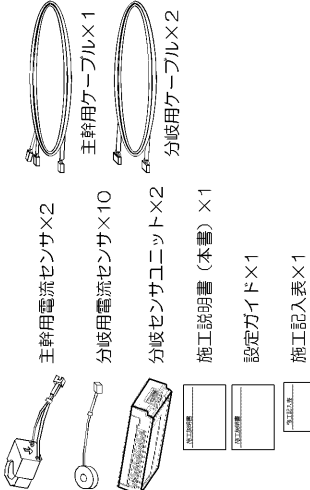
注意 LAN端子へ異物を挿入しないでください。変形・破壊により故障の原因となります。

LANケーブルの接続

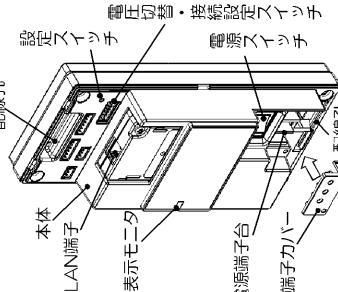
- LAN端子と、ITアクセスポイント（BTR-4010AZ）またはホームゲートウェイ（HEM-LN13A）を接続するLANケーブルは、CAT5以上のストレートケーブルを使用し、配線長は100m以内としてください。
- フリー付きLANケーブルは使用できません。
- LANケーブルと電源線は触れないように配線してください。

付属品

確認してください。



各部のなまえ



オプション品

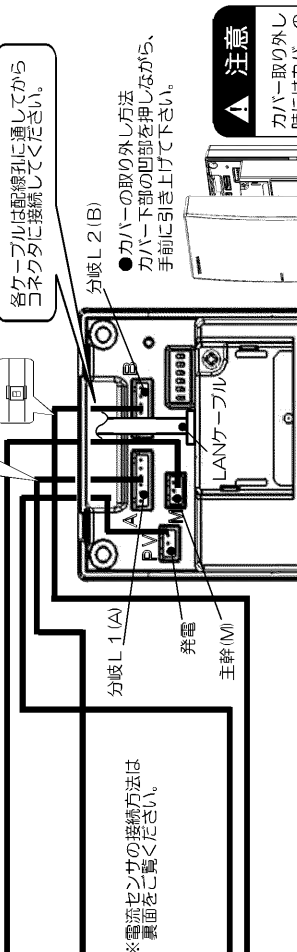
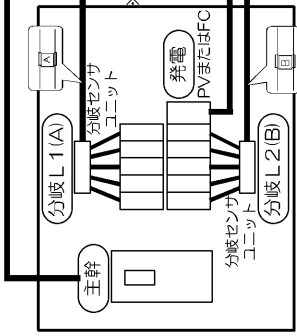
同梱されていません。必要に応じてお買い求めください。

- 発電用電流センサ HEM-OP30A
- 発電用センサ×1 / 接続ケーブル×1
- 本機が稼働中、発電電力を計測する際、必要となります。
- 本機における発電電力計測は単相2線出力機器のみに対応となります。
- 延長ケーブル (主幹・発電用) HEM-OP40A
- センサ延長ケーブル×1 (1.5m)
- 電流センサと中継ケーブルの長さが必要ない場合、必要となります。
- 延長ケーブル (分岐用) HEM-OP50A
- センサ延長ケーブル×1 (1.5m)
- 電流センサと中継ケーブルの長さが必要ない場合、必要となります。

配線方法

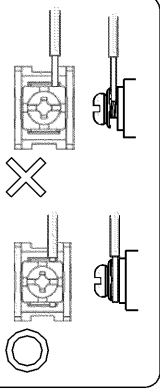
この接続方法にしたがい、各接続を正しくおこなってください。接続を誤ると動作不良や機器が破損する場合があります。

住宅用分電盤



電源線の接続

- 適合電線 φ1.6mm単線
- 単相3線 (1φ3W) AC100V専用です。
- 各相正しく接続してください。
- 分電盤送り端子の接続は分電盤の使用方法に従い正しく接続してください。
- まだ極力短くなるように配線してください。



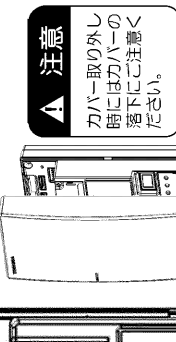
警告 発熱・焼損・火災の原因となります。

端子台に確実に電線の締め付けを行ってください。

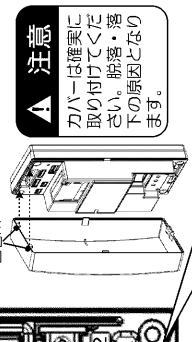
注意 電線線を接続後、端子カバーを取り付けてください。端子カバー内に芯線を収めてください。芯線を露出させると、感電・故障の原因となります。

各ケーブルは配線孔に通してからコネクタに接続してください。

● カバーの取り外し方法
 カバー下部の凹部を押しながら、手前に引き上げて下さい。



● カバーの取り付け方法
 カバーの回着爪を本体に引っ掛け、「リブ」になるまでカバーを押し当てて取り付けてください。



注意 カバーは確実に取り付けてください。脱落・落下の原因となります。

各電源線は配線孔に通してから電源端子台に接続してください。

単相3線 AC100V 有極性

注意 単相3線式 (1φ3W) AC100V専用です。極性を誤ると故障の原因となります。

機器取付方法

- 本体の取付は、天井面・高側面から15mm以上、下側面から30mm以上の間隔（隙間）を設けてください。
 - 露出取付け
裏面配線時は本体の配線孔に合わせて壁に穴を開けてください。
-
- 天井面
15mm以上
15mm以上
30mm以上
壁・柱・遮熱物
後壁
下側面
- 170mm
67mm(取付ピッチ)
- ノックアウト部
本体側面6ヶ所のノックアウトから入線することもできます。ノックアウト部
- 4箇所止め
木ねじ(4×20) など
- ※電源線とその他の配線は同じノックアウトから入線しないでください。

設定方法

システムへの登録などに関しては、同梱の「東芝エネルギー計測ユニット (HEM-EME2A) 設定ガイド」に詳しい実施してください。

電圧切替・接続設定スイッチの設定

- 「電流センサの取付・接続」にて200V負荷回路に取り付けた分岐用電流センサのチャンネルに対応したスイッチ(1~4)をON(上)にしてください。
 - 発電機器の計測を行う際は、スイッチ5をON(上)にしてください。
 - 200V設定: ON (スイッチ番号1~4)
 - 発電計測: ON (スイッチ番号5)
 - 単相2線計測: ON (スイッチ番号6)
-
- ON
1 2 3 4 5 6

スイッチ番号	計測回路番号 (センサ番号表示)	接続設定内容
1	7ch (7)	発電計測設定
2	8ch (8)	単相2線計測設定
3	9ch (9)	
4	10ch (10)	

※1~6chの200V設定はSimple HEMSTMからの設定が可能です。

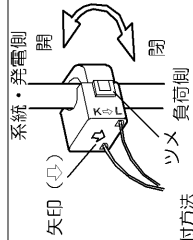
電流センサの取付・接続

主幹・発電用

※極性がありません。

- 矢印を間違えないで取り付け下さい。
- センサの記号表示Aを電源線の極性L1に、センサの記号表示Bを電源線の極性L2にそれぞれ対応させてください。

※電流センサは必ず機器に接続してください。未接続(開放)のまま使用しないでください。



- 電流センサの取付方法

- ① 電流センサのツメをはずし開ける。
- ② 電流センサ本体についた矢印を負荷側へあわせる。
- ③ 「パチン」と鳴るまでツメをしっかり掛けてから開める。

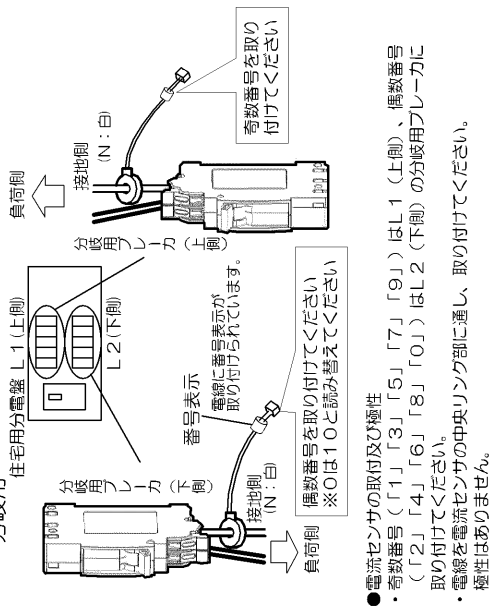
電流センサの接続

- 電流センサの記号表示と主幹ケーブルのラベル記号を合わせてコネクタ接続します。(電流センサA台主幹ケーブルL1、電流センサB台主幹ケーブルL2)
 - 電流センサ中継ケーブルと電源線は、触れないように配線してください。
-
- 矢印方向を負荷側にし、電流センサ1個をL1に接続ください。

A 警告

施工時、点検時には必ず主幹ブレーカおよび主電源を切ってください。電源が入ったままの施工、点検は感電・短絡の原因となります。

分岐用



- 電流センサの取付及び極性
- 奇数番号「1」「3」「5」「7」「9」はL1 (上側)、偶数番号「2」「4」「6」「8」「10」はL2 (下側) の分岐用ブレーカに取付けてください。
- 電線を電流センサの中央リンク部に通し、取り付けてください。極性はありません。

※100V負荷・200V負荷の電圧切替は、1~6chの場合はSimple HEMSTM、7~10chの場合は電圧切替・接続設定スイッチで設定します。

電流センサの接続

- 分岐センサユニットのラベル番号と電流センサに付いている番号表示を合わせてコネクタ接続します。
- 電流センサ中継ケーブルと電源線は触れないように配線してください。



表示モニター

- 機器の動作状態をモニターにて表示します。
・ 正常動作中は「緑点灯」となります。(ネットワークとデータ通信している場合は、点滅します)
- 機器に異常が発生した場合、「赤点滅」にて異常内容をお知らせします。各処置方法を実施してください。

モニタの点灯状態	色	内容	処置方法
緑	緑	正常動作	—
赤	赤	ネットワーク 初期化動作中	※経路接続点滅の場合：システムへの登録をしてみてください。 登録方法は同梱の設定ガイドに詳しい実施してください。
赤	赤	本機内部 メモリ異常	・電源スイッチをオフにし、再度電源をオンにしてください。
赤	赤	ネットワーク 異常	・ネットワーク設定を再度実施してください。 ・通信対象機器(アラースポイントなど)の電源が入っているか確認してください。
赤	赤	内部時刻 異常	・他のシステム機器との時刻が異なる可能性があります。 ・通信対象機器(アラースポイントなど)のネットワーク接続を確認してください。
赤	赤	電源配線 異常	・電源配線を確認してください。
赤	赤	電流センサ 接続異常/ 機器設定異常	・電流センサ(主幹用/分岐用/発電用)が正しく取り付けられているか、正しく発電の設定がされているか確認してください。